

# 地域おこし協力隊の活動日記

飛驒市内で活動している地域おこし協力隊。市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります。



## 飛驒市の皆様、こんにちは！

地域おこし協力隊の活動内容紹介  
く広葉樹・薬草を活用したまちづくり推進  
隊員 中富 康子

今春4月から、地域おこし協力隊として広島市からまいりました、中富康子と申します。

田舎町に生まれ育ち、福岡・広島市内に暮らした20年。周囲からは「なぜ飛驒へ？」と驚かれました。色々な出会いに導かれ、そして何より決め手は知れば知るほど「飛驒に魅力を感じた」から。今となりましては、どつやら我が地元で

もひそかに飛驒ファンが増えている模様です。

ようやく新生活にも慣れてきた今日この頃ですが、移住前から細やかにフォローしていただき、また皆さんから温かく迎え入れてくださる事に感謝し、2カ月を迎えた今、改めてこのご縁を嬉しく感じています。

さて、私の主な活動内容とはいますと飛驒の地に育む「広葉樹・薬草」、これら森の恵みのより良い「巡り」を目指した「まちづくり」のお手伝いになります。

まずは、街散策や出会う方々とのコミュニケーション、広葉樹や薬草に関する場への参加等、土地・人と触れ合うことから活動スタート。

・少人数ながらアグレッシブに躍進「飛驒市の木育を広める会」の皆さんとの交流。(主役はお子様&ママのみならず、大人へのご褒美時間や女性の心を満たしてくれる1日…イベント近日常催♪ぜひ！)

・NPO法人薬草で飛驒を元気にする会「の皆さまの精力的な活動から学び、暮らしに根付いた豊富な知恵と知識。

・かわいい野草茶の作業現場にて。長年の経験が生む繊細かつ努力のいる手仕事

の成せるワザ、愛飲者の多い理由に納得です。

・飛驒の眠った魅力を呼び覚ますべく、新事業に向けて森へと潜入「視察」そこかしこに宿る自然の生命力を体感  
・森林環境教育を学ぶお話会参加。老若男女が集い自然を楽しむ、という「日常」。暮らしを豊かにするヒントはそこにありました。

：お行く先々での温かいお声かけの元、学び多き日々を過ごさせて頂いております。

そついった出会い通じ改めて思う「人と自然の繋がり」…その手段も十人十色、様々あると思います。登山や森歩きといったどつぱり満喫コースはもちろ

ん、例えば、滋味深い旬の食材や森の恵みたっぷりのお茶を味わうひととき、木のおもちゃのやわらかな手触り、あるいはお気に入りのイスと過ごす時間かもしれない。 (腰をおろすとラシギと包まれるような感覚は、一瞬木であることを忘れるほど。職人さんの丁寧な手仕事に物語を感じるような1脚。…とは私のことですが) 慌ただしい日常の中にそついったひとこまが増えることで

その土地らしさを含んだより良い巡り



が広がる良いなと思ひ馳せつつ。大切に育て、活かす。人の手やココロに届き、そして自然に還る、という巡り。

そしてここ飛驒はとても恵まれた環境であるという事。

自然の息吹や日本古来の食材、植物の恵み、和の心。

すでに素敵な飛驒の地ですが、当たり前にも身近にあるものの良さを感じたり、世代関係なく寄り集まれる場があったり、劇的な変化でなくても、そこに住む人が地域の「光を眺める」という観光。

そこから繋がるまちづくり。飛驒市民1年生として微力ながら何かの一助になれますと幸いです。改めまして、どうぞよろしくお願い致します。